

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1	○	高齢者介護予防・地域活動等支援バス運行事業費	高齢者の社会参加と生きがいづくりの推進、地区公民館を拠点に活動している団体の地域活動や研修会等に参加する機会の拡大を図るため、高齢者介護予防支援バス・地域活動支援バスを運行し、高齢者団体等のレクリエーション活動や研修活動、ボランティア活動などを促進する。	高齢者介護予防・地域活動等支援バスの運行 4台 令和4年度実績 ・旧高齢者バス：338件 ・旧ボランティアバス：17件 ・旧公共交通期間利用助成：64件	令和4年度から高齢者介護予防支援バス事業、ボランティアバス事業、公共交通利用助成事業を統合し、高齢者介護予防・地域活動等支援バス運行事業となった。それぞれの事業内容は維持したまま利用者のサービス向上を図る。	福祉部	長寿社会課	116
2	○	単体老人クラブ活動補助金	地域の支え合いや地域を豊かにする活動の活性化を図ることで、高齢者のつながりや生きがいを高めるとともに、健康づくりを推進するため、老人クラブの活動を支援する。	老人クラブの活動に対する助成 ・支援団体数 215クラブ ・助成額 老人クラブ連合会加入 20千円～74.7千円 老人クラブ連合会未加入 10千円～37.3千円	老人クラブは、会員の健康づくりや介護予防の取り組みに加え、子どもの通学時の見守り活動や小学校花壇整備等のボランティア活動なども行っている。地域福祉の重要な担い手として更なる活動の展開が期待される場所であるが、クラブ数及び会員数とも減少傾向が続いていることから、会員の増加に向けた取り組みを行っていく。	福祉部	長寿社会課	117
3	○	地域ふれあい事業費	ふれあいのあるあたたかい地域づくりができるよう、しゃんしゃん体操を普及させることで、元気で活動的な高齢者を増やし、健康寿命の延伸を図る。	・普及員養成講座受講者 10名 ・普及員スキルアップ研修 1回 ・しゃんしゃん体操事業検討委員会 2回 ・しゃんしゃん体操普及員による活動 27地区	新たな普及員を養成し、地域での啓発活動を安定的に実施することが必要と考える。普及員同士のつながりの醸成や、普及員が積極的に活動を行い、普及員活動を継続していけるような支援の体制について検討する。	福祉部 健康こども部	長寿社会課（鳥取市中央包括支援センター） 健康・子育て推進課	118
4	○	福祉ボランティアのまちづくり事業助成交付金	高齢者が社会参加活動を通じて要支援・要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、高齢者等が気軽に集まれるサロンの開設・運営を支援する	サロン数：385 ※うち、補助金対象となるサロン（結成して1、2年目）49 サロン開催数：9,016回 合計参加者：67,448人	地域における支え合いの仕組みづくりや担い手の育成は時間がかかるため、福祉学習等による仕掛けやきっかけづくりを行っていく。	企画推進部	長寿社会課（鳥取市中央包括支援センター）	118

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
5	○	老人の明るいまち推進事業費	高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいを図るため、趣味の教室や各種スポーツ大会、社会奉仕活動、健康講座等の多様な活動の機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 趣味の教室、作品展、各種スポーツ大会の実施 趣味の教室 473人 作品展 186人 各種スポーツ大会 328人 	コロナの影響により参加者が減少しているが、引き続き多様な活動の機会を提供し、高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいを図ることを推進することにより、引きこもりの防止等介護予防、健康寿命の延伸を図る。	福祉部	長寿社会課	119
6	○	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業費	高齢者の心身の多様な課題に対応しきめ細やかな支援を実施するため、保健・医療・介護分野で連携して迅速かつ効果的にアプローチし、フレイル(心身の虚弱)予防を推進する。	<p>市内11の日常生活圏域(概ね中学校区)で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別支援:(延べ)107人 集団支援:(延べ)676人 通いの場の箇所数(実)31箇所 	<p>市内18圏域中11の日常生活圏域で実施しているが、実際に関与できているのは一部の公民館圏域の一部のサロンやごく少数のハイリスク者にとどまっている。</p> <p>実施体制の拡充と同時に、住民自身が地域でフレイル予防に取り組めるような仕組みを作っていく必要があり、方法を検討する。</p>	福祉部	長寿社会課(鳥取市中央包括支援センター)	125
7		自死対策強化事業費	主に働き盛り世代のメンタルヘルスに関する知識の普及と心の健康に関する相談体制を整備し、自死予防を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 心の健康、自死予防に関する普及啓発:自殺予防週間や自殺対策強化月間等の機会を通して、パネル展示、チラシや啓発物の配布、ホームページや市報に掲載。 企業向けメンタルヘルス出前講座及び研修会:13回開催、参加者数282名 心の健康相談件数:訪問(延)412、面接(延)518、電話(延)1520 	新型コロナウイルス感染症による対策の考え方が変更されたことから、今年度は、他部署との連携、大学祭等の様々な機会をこらえ啓発を企画・実施する。	健康こども部 鳥取市保健所	保健医療課(心の健康支援室)	158
8	○	健康診査費	健康増進法に基づく各種健康診査を実施し、健康意識の向上、生活習慣改善、疾病の早期発見・早期治療を図る。	<p>(69歳以下受診率)</p> <ul style="list-style-type: none"> 胃がん検診 35.5% 肺がん検診 34.4% 大腸がん検診 37.1% 乳がん検診 61.1% 子宮がん検診 71.3% ※乳、子宮は2年に1回の受診率 	コロナの影響により受診率が低下しており、コロナ前まで回復していない。特に胃がん・肺がん・大腸がん検診の受診率が低下しており、50～70歳代が減少傾向である。働き盛り世代、退職後に継続して健診が受診できるような啓発が必要である。また、大腸がんの精密検査受診率が減少しており、精密検査は必ず受診に繋がるような働きかけが必要である。	健康こども部 鳥取市保健所	健康・子育て推進課(健診推進室)	163

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
9	○	健康教育・健康相談・訪問指導事業費	生活習慣病及び介護を要する状態になることを予防し、健康づくりを支援するため、健康教育・健康相談・訪問指導を実施し、適切な指導や支援を行う。	・健康教育、健康相談、訪問指導を実施 【教育】健康に関する知識の普及・啓発(343回 延4,783人) 【相談】個別相談による住民の健康不安の解消、健康づくりへの助言(216回 延2,714人) 【訪問】看護師・保健師・栄養士の家庭訪問による支援(延586人)	特定健診の結果で、生活習慣病の改善が必要な方を対象に保健指導を実施する。また、地域においても日頃より生活習慣病予防や健康づくりの意識を醸成することが必要である。	健康こども部 鳥取市保健所	健康・子育て推進課	163
10	○	シルバー人材センター運営補助金	高齢者の意向に応じた臨時的・短期的な就業機会の提供を行う「公益社団法人鳥取市シルバー人材センター」の運営を支援し、高齢者の豊かな生活の確保や生きがいづくりを図る。	[会員数][就業率][受託・派遣事業総実績] 令和2年度 699人 91.3% 295,756千円 令和3年度 703人 90.6% 298,245千円 令和4年度 717人 90.9% 301,660千円	(公社)鳥取市シルバー人材センターは、就業による高齢者の積極的な社会参加と生きがいづくりを創出し、活力ある高齢社会と雇用の創出に貢献する中核的な組織であり、地元企業の人材不足解消に向けても、引き続き支援を行っていく必要がある。	経済観光部	経済・雇用戦略課	174
11	○	特定健康診査等事業費	医療費の適正化を総合的に推進するため、40歳以上の被保険者に対して生活習慣病に着目した特定健診・特定保健指導を実施する。	本市国民健康保険被保険者を対象とした、特定健診、特定保健指導の実施 令和4年度(見込み) 特定健診受診者数 9,032人 受診率 33.9% 特定保健指導実施率 29.2%	特定健診受診率、特定保健指導実施率ともに近年横ばいの状況にある。今後も効果的な啓発活動や受診勧奨、保健指導の利用勧奨を推進していく。	健康こども部 鳥取市保健所	健康・子育て推進課(健診推進室)	393
12	○	高齢者健康教室事業費	高齢者を対象とした健康教育を実施することで、介護予防に関する知識の普及・啓発を行い、自主的な活動ができるよう支援することで、介護予防及び健康寿命の延伸を図る。	高齢者健康教室の実施 回数 231回 参加者数 延べ2,342人	少しずつイベント等が再開されてきており、多数の住民へフレイル予防や生活習慣予防について理解してもらえるような啓発を企画したい。 また、運動器機能の低下の防止と閉じこもりを予防するため、地域で自発的に運動や交流などの取組みができるように支援が必要である。	福祉部 健康こども部	長寿社会課(鳥取市中央包括支援センター) 健康・子育て推進課	400

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
13	○	介護予防普及啓発事業費	地域における高齢者の自発的・継続的な介護予防の取組を促進するため、地区公民館等での出前講座の開催等を通じて、高齢者に介護予防に関する基本的な知識の普及啓発を行う。	出前講座 計89回 参加者数 延べ1186人	出前講座を申込する高齢者グループが固定化しており、また高齢化により各グループの参加者が減少傾向にある。 令和2年度より新型コロナウイルス感染症流行下で高齢者が集う機会が減少し出前講座の申込も減少していたが、令和4年度は回数・延参加者数とも増加傾向であった。今後は、対象の高齢者グループに必要な講座のテーマ、内容を積極的に提案していく。	福祉部	長寿社会課（鳥取市中央包括支援センター）	400
14	○	(再掲) 地域リハビリテーション活動支援事業費	地域における介護予防の取組を強化するため、通所・訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与の機会を設ける。	<ul style="list-style-type: none"> 介護支援専門員など介護の専門職とリハビリテーションなど医療の専門職が共同して行った個別ケースに対するアセスメントや助言、指導 91件 地域ケア会議へ助言者として医療の専門職を派遣 27件 その他含め 計231件の地域支援を実施 	専門職派遣の需要は年々増加してきている。地域への支援を推進していくためには、より多くの専門職に地域の課題に関与してもらう必要がある。このために、地域活動に協力してもらえる専門職を確保できるよう周知していく。	福祉部	長寿社会課（鳥取市中央包括支援センター）	401